

脱炭素と再エネ事業を知る 「風力発電に関する村民勉強会」

7月6日、交流センター「ふれ愛館」で、『風力発電勉強会』を開催。村民を中心に20人が参加し、専門家の講話に耳を傾けました。初めに、農業・食品産業技術総合研究機構・上級研究員の万福裕造さんが「脱炭素勉強会」と題して講演。続いて、飯館村・川俣町・浪江町の境界周辺で風力発電事業を計画している東急不動産株式会社の佐藤裕真さんが「風力発電事業について」と題して講演。参加者が、脱炭素や再生可能エネルギー事業の意義を、自分事として学び、活発な質疑応答も行われました。



再エネ事業と地域の共生について意見を交換。第2回は7月27日に開催しました。写真は同6日の初回の様子。

「日本で最も美しい村」連合 長野県中川村で総会

飯館村が平成22年から加盟する「日本で最も美しい村」連合の定期総会が長野県中川村で開催され、杉岡村長が担当職員と共に出席しました。同連合には現在、58町村地域(28町、21村、9地域)が加盟しています。総会に合わせ、「自立のためのむらづくり」をテーマに、基調講演やグループディスカッションなどが行われました。また、中央アルプスを望む中川村や近隣の伊那市高遠町、大鹿町、原村など加盟町村地域の視察も行われ、インバウンド政策における地方の役割にも注目しながら、参加者が意見を交わし、交流しました。



中川村で行われた総会の一場面。壇上最後列左端が杉岡村長。加盟町村地域の首長が一堂に会しました。

福島県農業総合センターで 飯館村花き勉強会

7月7日、令和7年度飯館村花き勉強会を開催しました。花き栽培に取り組む21人が参加し、村のバスで郡山市の福島県農業総合センターへ。現地で小菊やトルコギキョウの栽培方法などを視察しました。センターでのワークショップで意見を交わしたり、花きを扱う直売所に立ち寄り感想を述べ合ったり、研修を通して参加者同士が交流を深め、取り組みや課題を共有していました。



7月7日の七夕開催。ワークショップでは、コメントを書いた付箋を短冊に見立てて意見を出し合いました。



ふかや風の子広場で 謎解きイベント開催！

6月29日、ふかや風の子広場で、『謎解き探検イベント』が開催され、“謎解き”を楽しむたくさんの来場者で賑わいました。広場に散りばめられた福島県にまつわる“謎解き”を通して、福島其自然や文化、歴史の魅力に触れることができるイベントです。参加者は、広場をくまなく歩いて問題を探し“謎解き”に挑戦。全問正解者には賞品が贈られました。広場に家族の笑顔があふれ、子どもと一緒に保護者の皆さんもイベントを存分に楽しんだ様子。「楽しかった」「また来たいです」と話していました。



家族連れの参加者が、協力しながら“謎解き”に挑戦！問題の場所を探し求めて、広場を探検しました。

飯館村防犯指導隊 隊長はじめ5人に功労表彰

飯館村防犯指導隊の渡邊富士男隊長(飯樋町)、赤石澤富夫さん(大久保・外内)、嘉藤文二さん(白石)、木幡八男さん(比曾)、南相馬地区防犯指導隊所属の杉浦光一さん(伊丹沢)の5人が、南相馬地区防犯協会連合会と南相馬警察署から、防犯功労者の表彰を受けました。表彰式は7月7日に、道の駅南相馬で行われました。防犯指導隊は、犯罪の無い明るい地域社会の実現に向け、啓蒙活動やパトロールなどを通して地域安全活動に取り組んでいます。



表彰を受ける渡邊隊長と隊員の皆さん。住民のための地域安全活動に対する長年の貢献が讃えられました。

社会を明るくする運動 メッセージ伝達式

7月1日、飯館村保護司会から4人の保護司が来庁し、『第75回「社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージ伝達式』が行われました。この運動は、犯罪や非行の防止、更生について理解を深め、安心安全な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。保護司の皆さんからメッセージの伝達を受けた杉岡村長は、「本運動の意義を十分にふまえ、今後も安心安全な『わくわくする楽しいふるさと』の形成に努めていきます」と応え、また、保護司の皆様への取り組みに感謝を伝えました。



伝達式後に記念撮影。保護司を代表して多田仁彦さん(右から2番目/宮内)がメッセージを読み上げました。